

「ピリッと感」がめざす姿へ

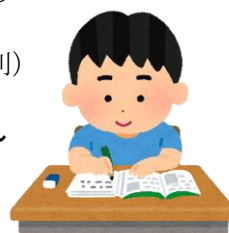
松波小学校更なるステップ！

早いもので、1学期も残すところ1カ月を切りました。4月に本校に赴任して3カ月ということになります。子どもたちは毎日「学びの栄養」を吸収し、ぐんぐん成長をしています。また、ご家庭での温かい声かけも支えとなり、明るく元気に登校をしています。とても元気で優しい子どもたちです。

こんな素敵な子どもたちですが、更なるステップをはかるためには、どうしたらよいのだろうか？と考えてみました。3カ月過ぎた今感じていることは、松波小学校の子どもたちにもう少しの【ピリッと感】があればと感じています。あと一步の緊張感によって、双葉から本葉へ、そして、更にぐんぐん伸びるきっかけとなることでしょうか。つまりピリッと感を意識することで、更なる成長が期待されるということです。

(1) 学びのピリッと感 ～学校は勉強するところ～

- ・聞く姿勢：座った時の姿勢（足ぺったん） 話す人の方に体と心を向ける
- ・話す姿勢：聞いていることを確かめて話す（相手意識をもって話す）
- ・学習準備：持ち物表の確認 筆箱（そろえるものと必要でないものの区別）



(2) 身なりのピリッと感 ～形は心をつくり 心は形にあらわれる～

- ・名札をつける
- ・ズックをきちんと履く
- ・体育の服装を揃える(体操服・赤白帽子)

(3) 関わりのピリッと感 ～思いやりと感謝のことばの広まり～

- ・「あいさつ」 おはようございます こんにちは さようなら
- ・「あったかい言葉かけ」 ありがとう すごいね がんばってるね

(4) 整とんのピリッと感 ～学びの空間の整えで自発的な姿になる～

- ・机や椅子のせいとん（授業中、空き教室）
- ・下足箱のズックの入れ方
- ・引き出しボックスを整とん
- ・学級園や花壇の世話



松波小学校の教育活動が、ますます充実するよう保護者や地域の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

松波小学校 校長 宮本 秀人